



六郷 ろくごう

六郷小学校

H29. 9. 15

No. 17

「本番に強い」六郷小学校に

学習発表会予行の反省会の際に、「本番に強い学校になりたい。」という話を職員にしました。こういったステージの発表では、緊張してしまって声が出せなかったり、練習のように表現できなかったりすることがあります。しかしながら、「本番に強い学校」は、その緊張感をものともせず、練習以上の演技ができます。

この「本番に強い」とは、何なのでしょう？ 私は、「思いをもって、自ら取り組むこと」にあると考えます。先生に言われた通りに仕方なく練習してきた場合は、本番で失敗する可能性が高いのではないのでしょうか。なぜなら、そこに一人ひとりの思いがないからです。言われないと動けない子ども達になってしまっているからです。

しかし、自分たちが「出し物を何としても成功させたい。」と考え、主体的に練習に取り組んだとしたら、必ず本番は練習以上のものが出せると思うのです。以前、仙台育英高校の野球部の話を載せましたが、子ども達自らが考え、練習した成果は、結果だけでなく、一人ひとりの子ども達に大きな力を与えます。

六郷小学校の今年の学習発表会は、「本番に強かった」でしょうか？私（校長）は、普段の練習や予行を見てきましたが、どの学年もたくさんのお客様の前でも動ぜずに、これまで以上に思いっきり声を出し、精一杯演技していたと感じました。何よりも、一人ひとりの「やる気」が声や体に表現されていました。

この練習で得られた力を、自分でしっかり自覚し、次の目標に挑戦させたいと思います。「大きな声が出せた自信」「体全体を使って動けた満足感」を大切に、その力をいろいろな場面で生かせるようにしていきたいと思います。たくさんのご声援ありがとうございました。

(子ども達のがんばり)



ウェイトারの仕事もなかなか大変でした。



招待者の受付はいいねいこ



この人はだれ？



今年は照明係も



本番前の余裕の表情



(保護者のみなさんのがんばり)



バザーでは、保護者の皆さんも大変がんばっていただきました。前日の準備も大変でしたが、当日もたくさんのお父さん方が朝早くから来て、仕込みに奮闘してくださいました。おかげで、どのメニューもおいしくて、学習発表会ならではのバザーとなりました。

(音楽部、太鼓部のがんばり)



音楽部の演奏もすばらしかったです。六郷小学校の演奏は、県内でも高いレベルです。県民会館でも、たくさんの拍手を奪うすばらしい演奏でした。音楽部の練習は、先生がいなくても自分たちで行っています。主体的な気持ちが育っていますので、一人ひとりの意識が高く、それが見事に演奏に表れています。

和太鼓部も迫力のある演奏でした。ご覧のようにたくさん子ども達が所属しており、バチさばきに表れているように、一人ひとりの強い思いが感じられます。他のスポ少に所属している子どもさんもたくさんおり、それでも太鼓を叩きたいという熱い気持ちで参加しています。

「Jアラート」の対応

今朝の「Jアラート」への対応、ありがとうございました。欠席児童以外は、全員無事に登校できました。登校班の班長に今朝の状況を確認したところ、課題がありましたので、次の点をよろしくお願いいたします。

- (1)「歩かずに保護者が車で送っていくと判断した場合」 → 必ず登校班の班長の家庭に連絡する。
- (2)「スクールバスに乗らずに車で送ると判断した場合」 → 同じく登校班の班長の家庭に連絡する。

登校班の班長としては、誰かが来ないとなると出発していいかどうか判断に困ります。今朝も、スクールバスに乗らなかった児童、登校班と一緒に来なかった児童が、それぞれ7人ほどいました。こういった緊急の場合は、一人ひとりの動きの状況をしっかり把握する必要がありますので、どうかご協力ください。